

忘年山行・甲州の名湯と静かな山歩きを楽しもう

石和温泉・大蔵経寺山～武田神社

実施日 2019年12月14日(土)～15日(日)
 天候 晴れ
 リーダー 白石 恵美子 (行事担当)
 参加者 涌井良明、山崎富美恵、白石恵美子、石附智江、渋谷賢寿、渋谷京子、遠井謙策、中村友子、石原勝正、宇野輝代、徳山敬子、白石佐恵、宮崎敏男、阿部一郎、阿部みゆき 計15名
 費用 宿泊費 14,450円/JR2,860円(高尾起算・運賃のみ)合計17,310円
 タイム 12/14 各自(15～18時)ホテル花いさわ着 泊
 12/15 ホテル(9:00)石和温泉駅(9:12～9:18)登山口(10:23～10:34)大蔵経寺山(11:04～17)深草山(12:39-59)鹿穴(13:35～51)大黒峠(14:26～40)東山(14:56～15:11)大日影山(15:24～15:28)登山口(15:56～58)武田神社(16:00)甲府駅(16:37)

12/14 三々五々ホテル到着後、温泉に浸かり、日頃の疲れを癒した後、美味しい食事を頂き、その後、部屋に戻り、二次会は持ち寄ったプレゼントをあみだ籤で交換。それから各自、今までにこぶし会の山行で最も印象に残った山、最高3座とその理由を発表。

12/15 Sさんに見送られてホテルを出発し、石和温泉駅の中を抜けて北口の階段を下り、真っ直ぐ進み、突き



当りを左の方に進むと「大蔵経寺入口」と書かれた矢印があり、その少し先の「大蔵経寺山登山口」と書かれた矢印に従って進む。鹿除けの扉を開けて入って行く。しばらくは舗装された道が続くが、途中から登山道らしくなる。

第一展望台からは雪を被った富士山の頭の方が見える。紅や黄色に彩られ

た登山道を行き、大蔵経寺山に着く。そこから大きな岩が点在する道を下る。その後、細かいアップダウンが続く。深草山に向かう途中、開けた場所があり、遥か遠くに、白く雪を被った荒川三山、白峰三山が望める。



そこからの尾根道歩きも、それらの山々が時々木々の間から見える。深草山の少し手前で昼食を取る。

深草山を經由し、鹿穴まではピンクリボンが沢山あり迷うこともなかったが、本日の最高地点、鹿穴山頂から下った鹿穴鞍部から大黒峠までのルートが、枯葉が積もって踏み跡がわかりにくく、迷ってしまった。先輩方のおかげで、最終的に



東山に通じる尾根に登る道が見つかり、事なきを得たが、ルートファインディングの難しさを実感した山行だった。

時間があれば武田神社を散策したかったが、大幅に下山が遅れてしまったため、そのまま、甲府駅に直行した。参加された皆さんには大変な思いをさせてしまい、申し訳なかったと反省しています。



そして、皆さんご協力ありがとうございました。これに懲りずにまた、よろしくお願ひいたします。

(記・白石 恵美子)

(写真提供・涌井良明/石原勝正)